



花の台ホール祭り



2018.12.15

No.9(437)

花の台ホール指導員発行

今年度も残り3ヶ月となりました。

年が明けると、少しずつ、卒業後の新生活にむけて又は、学童の中で1つ年上になっていく良いイメージをふくらませつつ、具体的な生活の準備や心の準備をはじめていくこととなります。

しかし今年も、新1年生の入室、在室児の継続希望に関わって大きな課題に直面し、正直なところ、心の中がモヤモヤした状態が続いています。

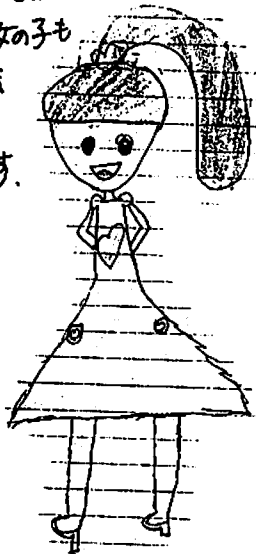
本当は希望するみんなが気持ちよく新年を迎えられるとどんなにうれしいか。

いつもと変わりなく元気にみえる子どもたちですが、とくに4、5年生は、来年も花の台に行きたい！と大声で言っているのか、他の友達はどうするのか、口にはあまり出しませんが、不安を抱えているのではないかと思います。どんな4月を迎えるにしてもこの間考えたこと、悩んだことが、子どもたちの力になるように、大人として力を尽していきましょう。

それでも日々は過ぎていきます。2018年の終わりに、この9ヶ月間の子どもの成長ぶりを振り返ると共に、今できることを楽しく！1日1日を充実したものに！していきましょう。

冬休みは2つの保育園とのこま交流会、科学教室があります。1月にはもちつき会があり、20才になったOBOGを迎えてお祝いしたり、学年ごとに親子ケンカごま大会もやります。だれが何と言おうと花の台の冬と言えばこまとなっていますので、この年末年始は是非「二世代」「三世代」でこまを楽しんでください。

糸人形づくりがブームの上級生にあこがれてか1、2年生の女の子もかわいい絵をかいたのがはやってます。



今年4月の父母会で「ダイナイト」について 以下の内容を投げかけさせて
いただきました。

花の台では、4~6年生を高学年と位置づけ、「ダイナイト」と呼んでいます。
 子どもは高学年になると、身の回りのことが自分でできたり、留守番ができて、あ
 るびや生活について時間も含めて自分で管理することができるようになってき
 ます。一方で身体もじま大きく成長し、自立への道を模索し始める時期で、行行
 下り、反抗下り、不安定になりやすくなることもあります。低学年に比べ興味関心の幅
 も広がり、友達関係も変化していく成長の節目です。生活面では、大人の保護を
 必要とする場面は減ってきますが、働く親を持つ子ども、といふ点では、これまでと
 変わりありません。年齢に応じた活動や支援を行うことで、高学年の子どもたち
 にとっても、学童保育がじまの拠り所となるために、と考えています。

今年度考えていくこと……

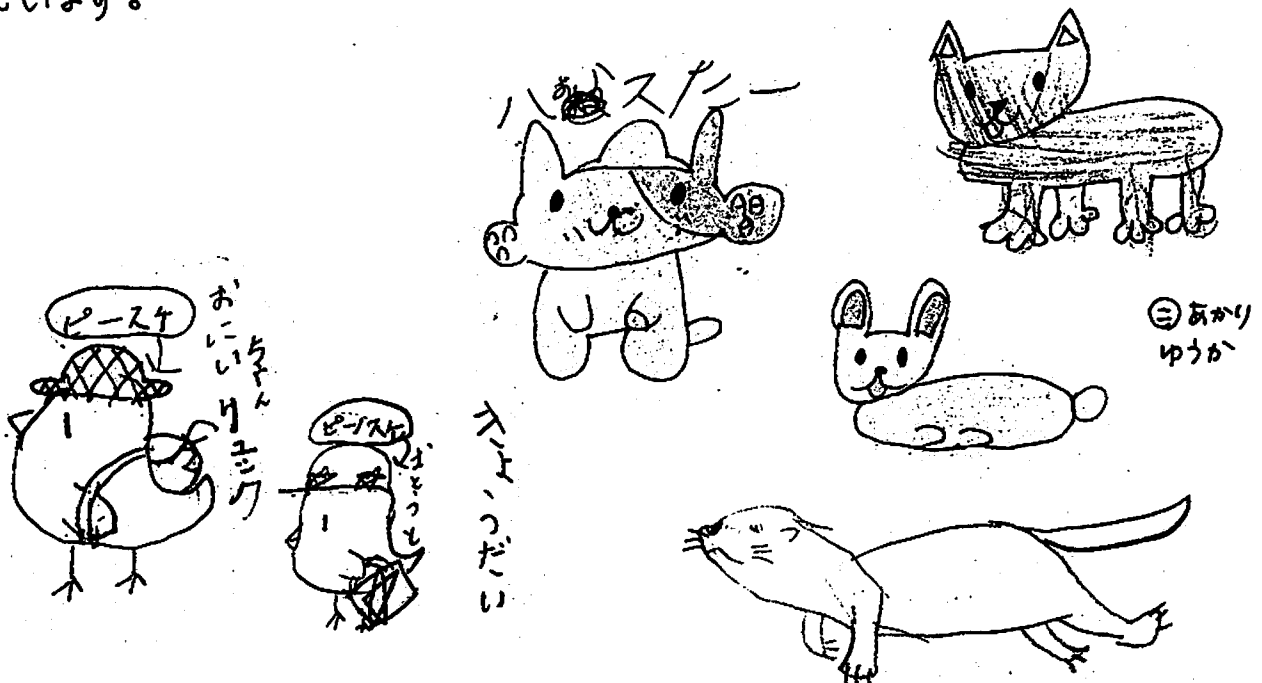
6年生がコスタントに残るようになり、4年生から6年生を一括りに考えることが
 様々な場面でも力の差に開きがあるため、難しくなっています。

今までは、4年生が主体で、5年生、6年生を残す子どもも少なく、
 4年生以上をダイナイトとしてきましたが、5年生も6年生も残る子どもが多くな
 り、今、ダイナイトという括りを見直していくと考えています。

この1年をかけて、子どもたちも、父母会でも話をしていきたいと思
 います。

〈2018 4月のおたより〉

この9ヶ月間、行事の取り組み、遠足、ふだんの生活の中などで、高学年としての立場、
 ふみまいについて 子どもたちとも話すこともありました。1月末のペガステでのダイナイト合宿
 で、このこと(5・6年生をダイナイトとしていく)について子どもたちと具体的に話をしていきたい
 と思います。





保育園とのこま交流会にむけて



花の台では、父母と一緒にやる大きな行事や、子どもたちだけでやる行事など年間を通じて大小様々な行事があります。それらの行事を節目として、子どもたちの成長を感じたり、絆を深めたりが実感できるので、毎日の生活のアクセントとして行事を大切にしています。

キャンプや子どもまつりなどの行事は、その準備過程も含めて楽しみに積極的に取り組む子どもが多いのですが、ドッジボール大会やこま交流会などは、楽しみにしている子、苦手な子も両方それぞれいて、その取り組みは、どうしても指導員主導になりがちです。

今も、冬休みの保育園とのこま交流会を控えて、**指**としてはもったこまの練習をしてほしいのですが、こまが苦手な子や、他にやりたい遊びがある子は、声をかけても練習しません。やりたくないことはやらない、というのは当たり前といえど「当たり前だし、**指**が毎回強制するわけにもいかず...」というところなのです。でも長年続いてきた地元の保育園との交流会、**指**としては、保育園にとっても、花の台にとってもお互いの子どもたちにとってもとても意義のあることだと思っているので、やはりやるからには成功させたいと思ってしまうのです。

そこで、子どもたち自身が少しでも自分たちの行事としてこま交流会を楽しみにしたり、意識して取り組んでいけるように、まずは班長さんから考えてもらおう、と班長会を開くことにしました。しかし班長会を予定していた日程に、西有馬小5年生が、総合学習の宿題をしなくてはならなくなり出席できず、直音くんも病気で欠席だったため、奇しくも班長12人のうち、こまの練習はほぼやっていない7人が出席の班長会となりました。

12月5日(水) 班長(ほゆい・ゆき・けん・しん・ちひろ・ゆき・いつき)^{おくら参加} + 6年(そら・しんぺい・そすけ)^{おくら参加} 会議

6年生は助っ人参加

まずは、保育園の先生から聞いている話から...

- ☆ 交流会をきっかけにこまあそびがはやって、うれしい。
- ☆ 技が上手な小学生のお兄さん、お姉さんに、あこがれる子がたくさんいる。
- ☆ こまのまわし方を1対1でやさしく教えてもらい、こまがまわせるようになったり、こまを好きになる子がふえる。

というこま
花の台のみたさん、ありがとう、といつも感謝されている

では、みんなはどう感じてる？

- ニゆき → 小さい子と交流できる。自分が教えた子がうまくなるとうれしい
ほゆい → 保育園の子と交流できて、保育園の子も楽しいし自分たちも楽しい。興味を持ってくれてうれしい。
けんと → 去年は保育園の子にまわし方をたたきこんだ。今年は技を教えたい。
しんぺい → 自分たちとしては、人が大勢いる中で、何かをやる経験になった。
しん → 自分が教えた人がまわせたりするようになるとうれしい
ちひろ → 自分が教えた子がうまくなるとうれしい。さいごにバイする時自分のことを覚えてくれるとうれしい。
ゆうき → 小さい子と交流できて仲よくなれるからよかった。

こまがそれほど得意でないメンバーということもあってか、技の披露よりも、一緒にこまをまわしたり教えたりする場面での感想が多かったのですが、やはり小さい子との交流は「うれしい」「たのしい」という思い出になっていて、「頼られる」「あてられる」「役に立つ」ことが自信になっているようでした。

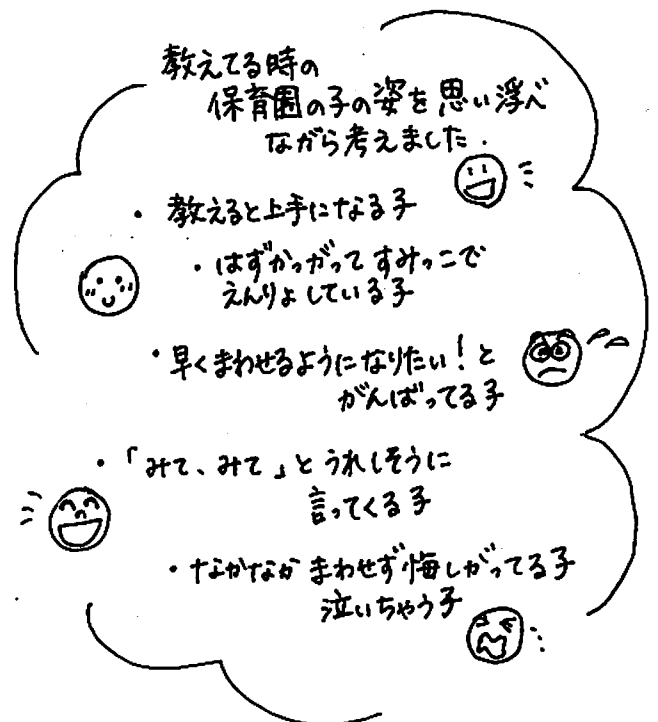
今年はどんな交流会にしたいか？

< 技の発表 >

- しんぺい → 1つの技を熱心に集中してみせる
ニゆき → 笑顔で技をやる。技をやったあともおしゃべりとかしないのでからこよもどる
そうすけ → 成功率の高いものを真剣にやる
そら → 見栄えがいい技をやる
ほゆい → みんながみておもしろそうなもの、すごい技をやる
ちひろ → あせるとこまを落すのであせらないように気をつける
しん → ダイナミックな技をやる
ゆうき → 小さい子にすごい！と思われる技をやる
いつき → 緊張しないようにする

< 教えるとき >

- ゆうき → やさしく
しん → やさしく
ニゆき → 心を開いてくれない子もいるのでやさしくわかりやすく、でもやさしすぎるとダメ。時には厳しく
ほゆい → ほめられるとうれしいので、失敗しても「できるよ」と励ます、ほめる。
ちひろ → やさしく
いつき → やさしすぎるとダメ。甘えるから
しんぺい → やさしすぎず厳しすぎずいつも通り
そうすけ → 一緒にやってあげたり、見本をみせる
そら → その子のレベルを知ってから教える
しん) → トラウマにはなったらいけないので
ほゆい) → やさしくていいねいに教える
けんと → やさしく、厳しくするとわかる。



そのために これからどんなことをやっていくか？

そうすけ → まじめに練習

ニゆき → みんなで練習する時間をもつ。1日15分でも、やれば上達するし、15分なら他のあそびもできる。

ゆうき → 練習したくない時も練習する

しん → 強制的に時間をつくらないと、3年女子とかやらない

ほゆい → やると決めた技は回数を決めて練習する。(指)にみてもらう。

ちひろ → やると決めた技はあきらめないでやる

しん → 根気よくやる

いつき → やってない人は強制的に15分やる

しゃんべい → 時間のある時にやる。

基本みんなまじめなので、この話し合いの流れだとこうなるよね、という意見が出ました。みんなのびの中に「こうした方がいいよね」という気持ちがあり、それは決してウソではありませんが、なかなか実現が難しいものです。でも、「班長だしがんばらなくちゃ」というその気持ちは大切に受けとめたいと思います。(実際自主的に練習していたのは、その日くらいで、あとは指が呼びかけたりしています。)

学童の生者の中には、楽しいことも嫌なこともある、やりたいこともやらなくてはならないこともある。高学年になるにつれて、なんのためにやるのか、を広く考えることができたり、自分の好き嫌いの気持ちを乗り越えて物事に取り組むことができる力を養っていかれたらと思います。そこにダイマイトとしての役割があるなと感じています。



< 班対抗ケカゴマ対決 > 新
新 vs 堀谷は、すくい試合となりました。



1年生も全員上手にまわせます。



11月17日(土) ベーゴマ大会 和リにて

花の台参加(将太郎・旬・佳斗・想・新・佑太・颯・煌大・琉斗・唯衣)

● トーナメント戦

戦う相手を自分でみつけて、勝てば残る、負ければお終いとなる
トーナメント戦。4人が準決勝にのり、自己紹介してグーパーで分かれ
たのだが、まさかの煌大vs新の花の台対決となる。結果は煌大

の勝ち。三位決定戦は、新くんは中野島ホールの指導員わたあめと対戦し惜しくも
負けてしまう。決勝は見事に煌大が勝ち優勝!!

自分が負けてしまっている、佳斗くん、将太郎くんは「あらた〜」「こうだい、かまはれ〜」と
声を出して応援してくれ、煌大くんも勝ち進むにつれて、真剣で緊張した表情になっていた。

● カード戦

一人20枚のカードを持ち、床に3~4人が集まって対戦し、勝った人は負けた人からカードを
1枚もらう、という対戦。制限時間45分で一番カードが多い人の優勝となる。

対戦相手を自分でみつけたり、声をかけてもらったりするのだが、フイツイ気心の知れた
花の台同士で戦うニヒニヒ同じ身内でカードをやりとりする子もいれば、積極的に他の
学童の子に声をかける子も。結果カード50枚で颯くんが3位となる。新くんは惜しくも
ここでも4位となった。(それでもすごいぞ)

ベーゴマというあそびを通して、他の学童の子たちとつながることも、花の台の絆が増すことも
できた一日でした。車を出してくれた山崎くん、高くん、細井くん、つきよってくれた細井母、応援
に来てくれた斉藤父、ありがとう ございました。



大人の参加も大歓迎です!

来年も大勢で
参加したいね!



女子は
2名
参加





11月28日(水) 避難訓練

子どもたちには何も知らせずに
みんなの会の最中に、かっふーが

「地震だ〜!!」と叫ぶ。きょんとした顔が目立ったが、気づいた人、動ける人からホール
の中央に集っていく。おちやけたり、笑ったり、わざと
動けなかった子も数名いたが、中央に集った時に、「なぜ真中に集まるのか?」を確認する。
高学年中心に、「物がなから」「より安全」などの意見が出る。車路の安全、建物の安全などを
判断し、靴を持って外へ出て、整列する。ずっとしゃべりっぱなしの子もいるが、こういう時は、上級生
が、2年生を連れてさっと並ぶこと、必要以外のおしゃべりは、みんなに指の音が届かなくなるので
しないこと、点呼の時は、しっかりわかるように返事することなどを確認。部屋に戻ってからは、下
校途中、公園、二文などで震振になった時の対応を確認。上級生は、何度も訓練の経験が
あるので、対応の仕方をわかっていて、みんなに話してくれました。



後日談 (い) (た) (こ) 「かっふー、昨日の地震で震度何だったの?」

(い) (た) (こ) 「昨日は避難訓練だから、うその地震だったんだよ、ごめんね」

(い) (た) (こ) 「くそー」



11月24日(土) さつま芋掘り

恒例のOBの面さんが作っているさつま芋掘りに
西有馬小近くの畑へ。唯一西有馬小の新くんが
道案内をしてくれる。1年生2人は ななちゃんの家
をすぎたあたりで「まだ〜?」ライフのあたりで
すでにハトハト。梅林公園でお茶タイム。
西有馬の子たちは、二軒は遠くから来てすごい!
いうかんじでした。

さつま芋は、1年2人が大活躍で掘ってくれました。
新くんは虫がイヤ... 堀くんは疲れた... でした。

帰りにふるさと公園でお弁当を食べ、きれいな
落ち葉をたくさんひろい、ホールに戻って工作を
しました。

のんびり楽しい一日でした。

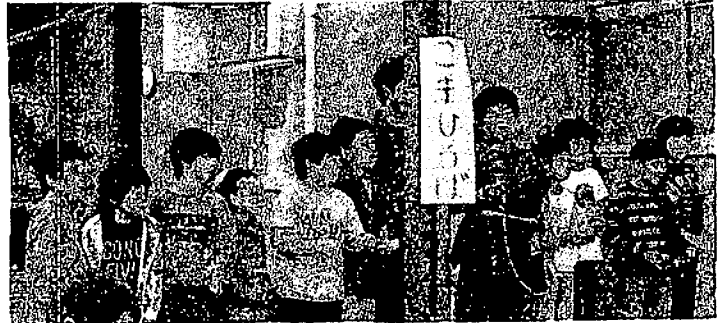


12月8日
もも保育園冬まつりで
こま技披露



<名人のうち、今回はこの3名が参加してくれました>

少し寒い日でしたが、晴れたので玄関前の「こまひらば」で、こま名人の3人を中心にこま技の披露をしたあと、冬まつりに来ていた保育園の親子の人たちと一緒にこまで遊んだり、回かし方を教えたりしました。



1級合格の人は空中争のせや缶のせを、2段の人はかけ枝やつなわたりを、そして3段も合格している名人3人はとうろく・へび・うずしお・大車輪・ツイストなど難しい技をみせてくれて、たくさんの拍手をもらいました。

今回は、もも保育園からの声かけで、このような機会がもてましたが、同じ子育てをする地域の人たちと交流でき、だれかのお役に立つというのはとてもうれしいものです。地域の中で、あそびを通じて一緒に育っていく、そのあそびの文化を発信していける学童でいたいと思います。



たんじょうひ¹¹ おめでとう



11/4

cup'n



- ☑ 明日急にお休みになったら何をやる?
→ コインゲーム
- ☑ すきなキャラクター
→ ミニオン
- ☑ がくどろで好きな手づくりおやつ
→ おにのみせき

11/4

ゆうか



- ☑ 明日急にお休みになったら?
→ 動物園
- ☑ 飼いたいペット
→ 犬
- ☑ がくどろで好きなおやつ
→ おえがき



11/22

こうだい



- ☑ すきなキャラクター
→ ドナルド
- ☑ 飼いたいペット
→ ハムスター
- ☑ すきなおしな
→ イカ・甘エビ

サイコロ インタビュー



11/26

lh



- ☑ がくどろで好きなおやつ
→ おにぎこ
- ☑ がくどろで好きな手づくりおやつ
→ パフェ
- ☑ すきなキャラクター
→ ティアとティール

12/11

たなか
ちかげ



- ☑ すきなおでんの具
→ あっあげ
- ☑ 行ってみたい国・場所
→ 北極でオーロラ
南極でペンギン
- ☑ すきながくどろの手づくりおやつ
→ さつま芋の春巻



12/26

あらた



- ☑ がくどろで好きな手づくりおやつ
→ パフェ
- ☑ 行ってみたい国・場所
→ シンガポール
(友達がいる)
- ☑ 冬休みのたのしみは?
→ クリスマス

2018年度 冬休み予定表

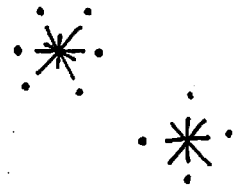
日	学習	お昼ごはん	活動
12/21(金)	/	給食	給食終了
22(土)	/	※土曜保育で相談	冬休みスタート
25(火)	○	カレー 6年と(保)で作る	
26(水)	○	おでん	
27(木)	×	弁当	おひさま保育園こま交流会(午前)
28(金)	×	弁当	中有馬保育園こま交流会(午前)
12/29~1/3 閉室			
1/4(金)	○	弁当	午後 小そらじ
5(土)	/	※土曜保育で相談	
7(月)	○	中華丼	土橋小授業スタート 110円おやつ
8(火)	/	弁当	宮崎小・西有馬小授業スタート 長妻先生科学教室
9(水)	/	ラーメン ※足りない人はおにぎり等持参	土橋小給食スタート 花の台こま大会
10(木)	/	給食	宮崎小・西有馬小給食スタート

12/19(木) 班ごとにケーキづくり (おやつ)

20(木) } 年末におけそれぞれの
21(金) } ロッカーのそらじ(子供)

※ 子どもの着替えの点検をおねがいします。
夏物や小さくなったものも入っています。(親)

1/6(水) 1月のおたんじょう会 (おすけ・ニゆき・ゆた)



◎こま交流会は10時にスタートできるように学童を出発します。
◎スケートは2月の代休で行く予定です。

☆ 12月27日(木) おひさま(保) } こま交流会
28日(金) 中有馬(保)

☆ 1月8日(火) 長妻先生の科学教室
15:00~16:30 予定

- 両日共 10時にスタートできるようにホッパを出発し 12時くらいに戻ってくる予定です。
- それぞれの出身保育園の3年生の子どもがホスターや当日の司会等を担当します。成長した姿をみてもらえるのも楽しみの1つです。(保)の先生に
- こま板をおひさま保育園へ運ぶお手伝いの方を募集します。(車が必要です)

今回のテーマは「静電気で遊ぼう！」

おうちで用意してくるもの

ウールの服、フリースなどを着てくる。
又は、ウールのひざかけや布、マフラーを持ってきて下さい。

12/26(水) 夕方7時くらい
花の台 → おひさま(保)へ

27(木) 午後~7時の間
おひさま(保) → 花の台へ

やってくる人
26日 ()
27日 ()

お知らせ ・ おねがい

今年度は学年別懇談会
は行ないません。が、
希望者(母が(保)が)は
個人面談を行ないます。

心配事、気になることが
ありましたら、声をかけて
下さい。日程を調整しま
(保)もかけます。(お)

そろそろインフルエンザの
季節です。
1月からしばらくの間、
共有の手ぶきタオルは
出しません。必ず
個人のハンカチを
持たせて下さい。